



令和4年度 保護者・生徒・地域の皆さんへ

長野高等学校 学校長だより

（「学校長だより」はホームページにも掲載しています。）

令和4年
No 1 2
10月28日（金）

海外留学についてのプログラム2つ

① 長野県教委主催の「海外研修」プログラム。

すでに校内でお知らせしていますが「信州つばさプロジェクト（高校生海外留学支援制度）」の一環として、オランダ・スイスへの訪問プログラム（12月11日～17日）が計画されています。渡航費用のうち航空運賃等の経費については県が全額を負担するものです。県の応募締め切りは11月4日です。（校内は10月28日）ただ、全県での募集人員が3名という少数です。今回の研修は「サステイナビリティ探究コース」という趣旨での募集です。他に計画しているものが「グローバル・ビジネス・インターンシップ（マレーシア）」「SDGs探究コース（カンボジア）」などもありますので、今後の計画については、また連絡があります。

② 文部科学省主催「トビタテ！留学JAPAN」第8期募集について

こちらはまだ校内でお知らせしていませんが、文科では平成25（2013）年度から標記プログラムを推進してきました。若者の海外留学の促進に向けて新たなビジョンを掲げて、令和5（2023）年度から令和9（2027）年度までの5年間、「トビタテ！留学JAPAN」第2ステージ（次期トビタテ）を実施することとなりました。来年度派遣生700名を募集します。高校生を対象としたコースは以下の3つで、国境を越えた探究活動を通じて得たものを社会に還元し、将来「社会にイノベーションを起こすグローバル探究リーダー」となる人材を輩出すると共に、「探究型留学」という新たな留学モデルの創出を行います。以下は概要です。詳細は今後配布されるチラシや下記のHP等でご確認ください。

（1）募集コースと募集人数

① マイ探究コース 360名

〈自らの興味・関心を基に考え出したテーマを海外で探究する留学〉

② 社会探究コース 200名

〈社会課題解決や社会貢献につながるテーマを海外で探究する留学〉

③ スポーツ・芸術探究コース 140名

〈所属する部活動または学校外活動を活かしスポーツ・芸術への貢献等につながるテーマを海外で探究する留学〉

（2）応募期間

在籍校からの申請期間 令和5（2023）年2月（予定）～2月24日（金）

新高校1年生 令和5（2023）年4月3日（月）～4月26日（水）

（3）対象となる留学期間

留学期間 留学先における活動期間が14日以上～1年間の留学計画が対象

留学開始時期 令和5（2023）年7月10日（月）～令和6（2024）年3月31日（日）

（4）支援内容

月額奨学金 12万円または16万円（留学先地域による）

留学準備金 アジア地域は15万円、その他の地域は25万円

（5）HP等

① 「トビタテ！留学JAPAN」公式ホームページ内特設ページ

〔URL〕 <https://tobitate.mext.go.jp/newprogram/hs>

過去には本校からこの留学プログラムに挑戦し、合格して留学した生徒さんがいましたよ！



学校中間評価で指摘のあった「トイレの環境」について

前回の「学校長だより」でもお伝えした通り、表記について、「まずはできることを」ということで以下の対応をしました。

- 1 トイレ掃除用具を新たに買い足して、きれいなものを使用します。
- 2 トイレの臭気除去のため、排水管（排水トラップ）に常時新鮮な水がたまる状態を維持。トイレの清掃方法に「排水溝にバケツ一杯の水を流す」を付け加えました。以下は、修正した『トイレの清掃方法』の一部抜粋です。

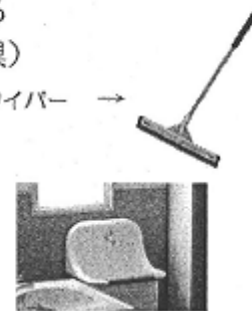


【トイレの床の水清掃】

- ・床全体にホース等で水を撒きながらデッキブラシで擦り、きれいにする
- ・床に水を残さないようにドライワイパー（先端にゴムがついた清掃用具）を使い排水溝に水を集める
- ・排水溝に残ったゴミを取る
- ・最後に床の排水溝にバケツ 1 杯、掃除用具入れの所の「スロップシンク」にバケツ 1 杯の水を流す

ドライワイパー →

スロップシンク →



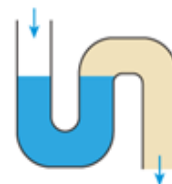
トイレトーパー

レクリーナー

付け加えた部分

排水溝の先には「排水トラップ」（右図はSトラップ）があり、常時水があることで、下水管からの臭気や虫等の侵入を防ぐ役割があります。ところが水を流さないと、水自体が臭くなったり、さらに乾いて本来の役割を果たさなくなるため、上記のように勢いよく毎日水を流してみてください。

Sトラップ



防災訓練、3年振りに校庭に避難の形で実施しました。

10月20日（木）のLHRの時間に防災訓練を行いました。本来は実施時間を連絡せずに行うところですが、3年振り、ということもあり予定した時間で実施しました。講評の中では次のような内容を生徒の皆さんに話しました。災害はいつやってくるかわからない、災害に遭遇したら「自身の命は自身で守る」こと、「家族や担任に生存を報告する手段」を確保。命を守る意味は「1つは社会的な意味、社会にあなた方の力を還元する役割」「もう1つは個人的な意味、将来の友人やパートナー等のために未来から託された命、その命をつなぐ役割」。災害でケガをしない、命を落とさないでください。

昨年は校長が作成した動画で防災学習を実施、一昨年は雨のため校内放送で講話を実施しました。今までの防災訓練等で話した内容としては『東日本大震災時における釜石の奇跡』『長野高校の地下には断層がある』『1985年には長野高校西側の地附山で大地滑り発生』『災害時における正常性バイアスの危険性』『上流の豪雨で急速に河川が増水する鉄砲水』などです。災害発生が頻発する近年の状況に



対して、今まで以上に「防災」について学んだり、実践・訓練したりする必要があります。